

虹の素 雨上がりには好きだといって Vol.7 (6月編)

「シンの月」

桜木想香

それは、この暗闇を切り裂くような
鋭く尖った僕らの心

CAST

- ♂ 大月 あらた ……2年E組。モザイクアートを修復している。
♀ 信田 心 ……2年E組。あらたがのことが好き。
♀ 長島 深幸 ……2年E組。演劇部。役作りのために喫煙していた。
♀ 小日向 つくし ……2年E組。美術部。モザイクアートのデザイン画担当。
♀ 中村 ミチル ……2年E組。サンからクラスリーダーを託された。犯人。
♀ 関口 二葉 ……2年A組、図書委員。あらたと元クラスメイト。
♂ 太田ひなた(サン) ……E組の太陽的存在。現在ブラジル在住。
♂ シン ……あらた達の罪悪感の象徴であり具現化した存在。
ブルー ……あらたが小学生の頃世話していた黒猫。事故死した。

※シンとサンは同じ人間が演じる。

神奈川県立横南高校。横浜市内の丘の上にある。

来年度より、県立浜北高校と合併し新設校になるため、最後の1年である。

「雨上がりには好きだといって」シリーズは、時代を2013年に設定していますが、実際の史実・時代状況とは違う箇所もあります。

雷雨。強い雨が窓を打ち付け、雷が近く遠くで轟いている。明日に控えた文化祭の装飾が華やかに校内を彩っている。2年E組の教室。時刻は間もなく真夜中のでっぺん。一人の男子生徒が、壁一面に写真を貼っている。モザイクアートのようだ。鈴の音がする。振り返ると、窓辺に死神のような魔法使いのような黒い男と、その使い魔のような黒猫が一匹佇んでいる。

あらた やっぱりお前か。

シン なんのことだ。

あらた いい加減とぼけるのやめろよ。どれもこれもお前のせいなんだろう？

シン さあ、知らないな。

ブルー おい、お前こそいい加減言いがかりつけるのやめろよな。

あらた ブルー……。

ブルー 全部お前が招いた結果だろ？

あらた うるさい！お前がいるせいで俺はいつまで経っても幸せになれないんだ。今日こそ……今日こそお前には消えてもらおう！

あらた、そばにあった傘を手に取り、シンに殴りかかる。

シンは軽やかにかわしあらたの身体にまわりつき締め付ける。

じわじわと痛みが伴っていく。

ブルー

だからいくら足掻いても無駄だって。君から離れるつもりはないよ。受け容れなよ。受け容れて永遠にもがき苦しむしかないって。

足音がする。消えて見えなくなるシンとブルー。

懐中電灯の光が差し込み、扉が開く。女子生徒が一人（二葉）、覗き込む。

二葉 大月くん？

あらた ……関口さん。

二葉 何してるの……？

あらた ……準備。

二葉 え、でもだって。

あらた 一から作り直してる。関口さんは？

二葉 私、もそう。準備。

あらた 図書室で？

二葉 えっ？

あらた いや、忍び込む時、図書室の窓からチラッと光が見えた気がしたから。

二葉 あ……ちよっと、図書室にも用があつて。委員会だ。

あらた A組って、（準備が簡単で忍び込む必要のなさそうな出し物）だよな？

二葉 ……手伝おうか。

あらた ありがとう。じゃあ。

二葉

(写真の束を見て)これ貼ればいいの？

あらた

うん、色ごとに分かれてるから。あ、一応これ完成図。

二葉

ありがとう。色が同じならどれでもいいの？

あらた

いいよ。本当は順番もあつたけどもうそんなこと言つてられないから。

二葉

そっか。

あらた

わかる？

二葉

うん多分。分からなかったら聞くね。

あらた

ああ、うん。お願い。

作業に入る2人。

二葉

大月くんは、幽霊とか信じる？

あらた

え？幽霊？何いきな

二葉

信じる？

あらた

まあ……信じるかな。

二葉

お姉ちゃんに会いに来たの。

あらた

お姉ちゃん？

二葉

お姉ちゃん、死んでるんだ。

あらた

えっ。

二葉

3か月前くらいからかな。あ、お姉ちゃん死んだのは3年前ね。なん3

あらた

か急に、見えるようになって。あ、お姉ちゃんも図書委員だったの。

あらた

うん。

あらた

で、え。じゃあよく忍び込んでんの。

二葉

たまにね。

あらた

喋ったりすんの？

二葉

私がね、一方的に。聞いてもらつてるだけ。

あらた

そうなんだ。

二葉

フツ―に受け入れるんだね。

あらた

なにが？

二葉

や、だつて、おかしいじゃん。幽霊とか。

あらた

うーん。

あらた

じゃあさ、黒猫、見えた？

二葉

黒猫？

あらた

ここ来た時。

二葉

いや、いなかつたと思うけど。大月くんもしかして見えるの？

あらた

いや、まあ、なんてゆーか、幽霊じゃないんだけど……。

二葉

なになにそれ。

足音と話し声が聞こえ、とっさに身を隠す2人。
扉が開き、女子生徒が3人（心、深幸、つくし）入ってくる。

心 あらたくん？

二葉 心ちゃん。

深幸 何してんの？

あらた ……見ての通り。

心 二葉ちゃんは？どうしたの？

二葉 あ。

あらた 来る途中でたまたま会って、手伝ってくれるっていうから。

二葉 え？

心 そう、なんだ。

あらた 幽霊とか余計なこと言わないほうがいいよ。

つくし まあいいじゃん！人数が多いに越したことはないでしょ！えっと、関

口さん、だよ。A組の。小日向つくしです。よろしくね。

二葉 あ、よろしく。

深幸 それで、なんでやってんの？写真どうしたのさ。

あらた 現像した。

深幸 データは？

あらた 送ってもらった。

深幸 誰に？

あらた ……中村に。

深幸 なんでだよ！おかしいじゃん！

心 深幸！

深幸 なんであいつがモザイクアート作り直すのに手貸すんだよ！燃やした

二葉 張本人が！

二葉 燃やしたのってミチルちゃんなの？

つくし もーほらー！

二葉 そうなの？

深幸 そうだよ。誰にも言いなよ。

心 ほら、とにかくやろう。

つくし 深幸役入りすぎ。

深幸 だね。

二葉 役？

つくし 深幸演劇部でやってる役本番近づくと日常生活にも出てくるの。

二葉 そうなんだ。あーだから。なんか雰囲気とか、こんな人だったっけっ

あらた てちよっと思ってた。

深幸 ヤンキーだったっけ？

あらた 不良娘な。

あらた 同じじゃね。

深幸 ちげーよ。微妙なニュアンスの違いがあるだろ。
二葉 すごいね役づくり。
深幸 いやだめ。オンオフ切り替えられてないだけだから。
二葉 でもすごいよ。去年の文化祭とか、なんかすごいのはっちゃけた役やっ
てたよね？新歓の時男役だったし。北島マヤみたい。
深幸 まあ憧れではあるかな。てか漫画読むんだね。
二葉 読むよーガラスの仮面、図書室にもあるし。
あらた 何それ。
深幸 演劇の漫画？
あらた へー。

心 てかさ、なんで二葉ちゃんがいるの？
つくし なんてって？
心 だってたまたま会ったとか嘘っぽくない？たまたま会って来るもん？
つくし うーん微妙かも。
心 でしょ。
つくし 付き合ってるのかな？
心 !と思う？
つくし ないと思う。てゆうかあの人大学生と付き合ってるんじゃないの？
心 そうなの？
つくし 教育実習生とって噂だけど。
心 なんてそんなこと知ってるの？
つくし 聞いたから。
心 誰に？
つくし あーほら、美術部に図書委員もやってる子いるからだ。
心 あーそっか。
つくし まーあんま気にするなって。とりあえずどつかで2人連れ出すから。
心 いやいいよ。

つくし あ、ごめんねそこその色じゃないの。
二葉 そうなの？
つくし うん、それから若干変わってるんだ。
二葉 そっか。
心 まあでもそういう調整はつくしちゃんができるから、私たちはとりあえずこの通り貼ればいいよね。
つくし うん。
つくし これつくしちゃんがかいたの？
二葉 、うん。
つくし す(きだなあ)
二葉 すごくないよ
2人 えっ？

つくし

なんて？

二葉

いや、すきだなあって。

つくし

別に大したことないよ。

二葉

ああ、うん。

心

ねえ、てことはミチルちゃんは知ってるってことだよ？

あらた

何を？

心

今作り直してること。

あらた

さあ、作り直すとは言っていないから。

深幸

いやそれくらい想像つくでしょ。

つくし

でもまさか本当に作り直してるって思う？

心

どうして、作り直そうとしてたの？

あらた

……俺のせいだから。

深幸

俺のせ(いって)

近くで雷が落ちる。驚く一同。心はびっくりして咄嗟にあらたにしがみつく。

つくし

うわびっくりしたあ。

二葉

めっちゃ近かったね。

心

ごめんね。

あらた

大丈夫？

つくし

まじ雨やばいね。明日大丈夫かな？

二葉

予報では晴れのはずだけど・・・。

つくし

本当に？

二葉

でも晴れても外めちやくちやだろ？

心

アーチのブルシ飛びそうだったよね。

あらた

正面から入ってきたの？

深幸

いや裏から飛び越えて。演劇部の部室棟から。

つくし

本当だ、もうすぐ止むっぽい。

心

2人はどこから入ってきたの？

あらた

……渡り廊下から。

深幸

どゆこと？

あらた

ほら、割れたまま仮補修されてるじゃん、ガムテで。

深幸

あーバスケ部が中庭で遊んでてやったやつね。

あらた

そこ外して入った。

深幸

え、でも2階じゃない？

あらた

よじのぼった。

深幸

まじか！やば！

つくし

あ、サンからラインきてる。

深幸

なんて？

つくし

クラスラインにきてるよ。

深幸

いいから読んでよ。

つくし
ヤッホー夜遅くにごめんね！明日文化祭だよね？俺の分までめっちゃ
楽しんでね！だって。

つくし
どうする？

あらた
どうするって？

つくし
なんか返したほうがよくない？

あらた
なんかって。

つくし
だって誰も返さないの不自然でしょ。

つくし
そうだけど、なんて返すのさ。

深幸
うーん……。

つくし
正直に言えばいいんじゃない？

あらた

心
ねえ、あらたくん、窓ガラス破って入ってきたんだよね？

あらた
うん。

心
直した？

あらた
いや。

心
そのまんま？

あらた
うん。

深幸
直してこいよ！！！！

つくし
めっちゃ吹き込んでるんじゃないやね？

心
あつ、私手伝うよ。

あらた、心、出て行く。

深幸
まったく、なんで放置してくるんだよ。

つくし
わ、どうしよ電話かかってきた。

深幸
サン？

つくし
どうしよ。出る？出る？

つくし、電話に出てスピーカーにする。携帯からサンの声が元気良く響く。

つくし
もしもし？

サン
もしもしつくしー？

つくし
久しぶり。

サン
なーなー燃やされたってどういうことー？何があったの？犯人は？

つくし
ミチル。

サン
えーうそー！なんでなんで？

深幸
わかんねえよそんなこと！

サン
あれ？……あー、つと、深幸？

深幸
そうだよ。

サン
どーしたの!?なんで一緒にいるの?今こっちが12時だから……そ
っち夜中の12時でしょ?

深幸
今作りなおしてんの。学校で。

サン
えー忍び込んだの!?まじで!?すごいじゃん!他に誰かいるの?

つくし
心と、大月くんと、あとA組の関口さん。

二葉
こんばんは、あこんにはは?あれ、えつと、

サン
あー俺今ブラジルにいるの。リオデジャネイロ!引越したんだ!

二葉
そうだったんだ。

サン
ありがとね!手伝ってくれてるの?

二葉
あ、うん。まあまたまたま、ちよつとね。

サン
ありがとー!いやーすごいね、忍び込んで作るとか!なんでつくり

深幸
直そうと思つたの?

深幸
そりや、だって。私たちだけのものじゃないじゃん。質問に答えて写

深幸
真撮らせてもらった人達に面目立たないじゃん。それに、

サン
それに?

深幸
サンが、ここまで一生懸命やってくれたのに。

サン
俺のことはいいんだよーもう無関係な人間だし!

深幸
そんな言い方!

サン
遠くのことばっかり気にしてると、近くにあるもの見逃すよ。

深幸
……。

サン
つくしはー?

つくし
私は、まあ、絵書いたの私だし。

サン
そっか!つくしいないと作り直すのしんどいもんね!ありがとー!

つくし
別にありがとーとか。

サン
あれ?心は?

深幸
今渡り廊下行ってる。

つくし
かくかくしかじか。

サン
そっかーグッジョブ!

つくし
あいつ本当は、この文化祭中に告るつもりだったからさー!

サン
えーそうなのー!?

つくし
でもこんなことになってそんな感じじゃなくなっちゃったからさ。だ

から、ちゃんと作り直せたら、告るんだってさ。

ちよつとあらたと心が戻ってきて。

心
ちよつと何話してんのさ!

サン
あー心!おひさー!話は聞いた!がんばれー!

あらた
なにになに?

心
なんでもない!

サン
いいじゃん青春じゃん!JK三大青春イベントじゃん!

深幸
三大?

つくし
二葉
文化祭と、修学旅行と、あと何？
体育祭？

サン
つくし
いーのいーの！細かいことは気にしない！

つくし
まあ確かにねー！この時期めっちゃカッパルできるよねー。

深幸
まあ私達には関係ないけどー。

つくし
一緒にしないでください。

心
あーそう！吉田がさ！1年の女子と付き合ったの！

サン
まじでえー！？吉田が！？すごー！

つくし
そうだ、二葉ちゃんて、教育実習生と付き合ってるんだよね？

二葉
えっ、ああ、うん、まあ。

心
えーウツソ！？大学生？すごー！

つくし
誰々？

二葉
あの、結城先生って、わかる？

あらた
あれじゃん、レオの兄ちゃんでしょ？B組のサッカー部の。

心
えーウツソ！結城先生ってレオのお兄ちゃんだったの！？

つくし
あ、サッカー部って言えばさ、アラジンとジャスマン別れたんてでしょ？

えーウツソ！あの2人別れたの！？いついつ！？

夏休み中。1年のマネージャーと付き合ってるんでしょ？なんだっけ、

アリエル！

そうそうアリエル。

アリエル？

そう。本名らしいよ。

本名？ありえないだろ。

いやアリエルなの！

えーってことはその子が奪ったってこと？やばー。

鈴の音。二葉の意識の中。今日の夜の出来事へ想いを馳せる。

彼氏の家の前。彼氏は、シンの姿で見える。

シン
送ってくよ。

二葉
いいよ、一人で帰れるから。

シン
でも。

二葉
大丈夫。

シン
平気？

二葉
なにが？

シン
痛い？

二葉
平気だよ。

シン
そう。

二葉
お邪魔しました。

シン
おう、気を付けてな。

二葉
……。

シン

……？

シン、二葉にキスをする。

シン

また明日。文化祭行くから。

二葉

また明日。

意識が現在に戻ってくる。

二葉

ごめんなさい。

心

え？

つくし

どーしたのー？なんかミスった？

二葉

ごめん、ちよつと出てくるね。すぐ戻ってくるから。

二葉、出ていく。あらたもすぐ追いかけて。

心

二葉ちゃん？

あらた

ちよつと行ってくる。

心

えっ。

深幸

なにあれ。

サン

なんかありげ。

つくし

あるねー。

心

なによ。

つくし

行かなくて平気？

心

今そんな場合と違う。これやるの。

つくし

あーはいはい。

心

終わるかな、朝までに。

深幸

やるしかないよ。

サン

なあ他に誰か来ないの？クラスラインに投げればいいじゃん？

深幸

だめだよ。

サン

なんで？

深幸

ミチルがいるから。

サン

なんでミチル？

心

でもあらたくんがデータもらってるわけだし、ミチルちゃんも作り直すことわかってるでしょ？

深幸

あのさあサン、なんでミチルに引き継いだわけ？

サン

なんでつて？

深幸

他にいたでしょ。

サン

例えは？

深幸

いや、誰でも。私だってやったし。

サン

誰でもいいならミチルでもいいんだろ？

深幸

いやでもさあ。

サン

逆に聞くけど、なんでミチルじゃダメだったの？

深幸

いやだって、まとめられないじゃん。

サン

まとめられなかった？

深幸

それは、

つくし

うーんでも、責任もって一生懸命やってて、あー意外にやれるんだな

つくし

ーって思ったよ。

心

私も！頑張ってるじゃんって思ってた。

つくし

てかうちら何様？上から目線やばくね。

心

ふは。

サン

ねえ深幸。俺最近思うの。

深幸

なに。

サン

まとめるのってさ、まとめられない人が悪いのかな？それともまとま

深幸

ろうとしない人達が悪いのかな？

サン

どういうこと。

深幸

まとめる人がどんなにまとめようとしたって、みんながまとまろうと

サン

しなかったらまとまらないでしょ。まとまる気もないのにまとめられ

深幸

ない人のことを無能だって言うのってどうなんだろ？俺はそういう

サン

うのはちよつとずるいんじゃないかなって思うよ。

深幸

深幸はさ、皆に（注目されたいだけでしょ）

サン

もういい。わかったから。

深幸

もういい。わかったから。

階段の下。二葉がうずくまっっているところを、見つけてあらたが近づく。

あらた

関口さん。大丈夫？

二葉

……。

あらた

なんかあったの？

二葉

ううん、なんでもない。

少し離れたところに腰掛けるあらた。

あらた

帰る？

二葉

え？

あらた

いや、辛そうだから。無理しなくていいよって。みんな来たし。

二葉

私も奪ったから。

あらた

奪ったって、彼氏？

二葉

……好きだったの。家にも遊びに来たりしてて、私にも優しくしてく

れて。憧れだった。私も高校生になったらお姉ちゃんの彼氏みたいな人と付き合いたいなって思ってた。お姉ちゃんがいなくなつて、もう逢うこともないと思つてたから、嬉しかった。

うん。

でもさ、もしお姉ちゃんが生きてたら、私と付き合うとかありえないじゃん？もし2人がフツーに別れたとしても、ないじゃん。だからなんだろう、いま私がこうしてるのって、完全にお姉ちゃんが死んだからじゃんって思うとき、ね。なんか、ね。私の幸せつて、お姉ちゃんの死の上で成り立ってるじゃん。

そうね。

たまに感じるんだよねえ。なんていうの、いや私のなんだろう、思い込み？不安があるからなのかもしれないけど、お姉ちゃんの代わり？私を通して何見てるの？みたいな。

あらた
二葉

あらた

お姉ちゃんのこととはわからないけど、でも、お姉ちゃんの代わりって言うのは、絶対違うと思う。絶対、いや多分、絶対、代わりとか思つてないよ。いや、もし、万が一、代わりだと思われてたとしても、あ万が一ね。あの、関口さんが、お姉さんの代わりになる必要はないと思う。関口さんが、ちゃんと、私は私としてたら、ちゃんとあんなか違うってわかってくれると思う。でもさ、代わりになるうとしてたらさ、本当に代わりになつちゃう気がする。

二葉

あらた

はい。

そっか。

あらた

二葉

そう。

あらた

二葉

話したんでしょ。

話したけど、自己満だから。

地震が起きる。

心

うわ地震。

つくし

おー揺れてんね。

深幸

ホントだね。

心

どこだろ。

つくし

なんかさー寝てる時地震来ると超こわいよね。

深幸

わかる。なんか、おお！って、パニックになる。

心

私気づかないで寝てるわ。

つくし

やば。震源どこ？

心

まだ出てないや。

つくし

てかさ、まじこーいう時間にでかいの来たらどうすんだらうね。

心 え、パジャマで逃げるってこと？無理やだ。
深幸 むしろ起きれんの？
つくし 心は気づかないで下敷きかもね。
心 いやないから起きるから！

あらたと二葉が戻ってくる。

つくし あーおかえりー。

あらた 地震気付いた？

深幸 うん気付いた。

心 あ、出てる。千葉だって。震度2。

あらた なんともだね。

つくし 二葉ちゃん大丈夫？

二葉 うん大丈夫。

あらた あ、雨止んでるじゃん。

つくし ほんとだ。いつの間に。

心 ピタッと止んだね。

二葉 よかったー。

つくし なんかさ、明るいよね。

心 こんな時間でもこんなに点いてんだね。

つくし ね。節電節電。

心 いらぬいあかりとか絶対あるでしょ。

つくし あそこのビルまだ電気点いてんのつてさ、残業かな。

心 えどこ？

つくし えほら向こうの。ワンフロワだけ付いてる。

心 あほんとだ。えーまじで？

つくし そういうことじゃないの？

心 そんなこと考えたこともなかったわ。

深幸 さすがに今それやってたらまずくない？

つくし 確かに。完全に残業アピールだもんね。

あらた なんかさ、俺らも今こうやって作業してるけどさ、これもし会社とか

だったら深夜残業なんだよな。

心 うわ絶対ヤダ。

つくし 自主的にやってるからいいけど、やらされるのはごめんだわ。

深幸 あれだつてあくまで「自主的に」やらされてるんでしょ。

心 うわーぎゃー。

二葉 ブラックだよな。

つくし 絶対ヤダ。

心 はーあ。大人になりたくない。

あらた なに言ってるの。

二葉 わかる。なんか大変そうだなって思う。なんかペコペコペコペコあや

心

つくし

深幸

つくし

あらた

深幸

心

深幸

二葉

深幸

つくし

二葉

深幸

あらた

深幸

あらた

深幸

二葉

深幸

二葉

深幸

つくし

深幸

つくし

深幸

心

二葉

深幸

心

深幸

あらた

深幸

まってる人いるじゃん。ああいうの見てるとなんだかなって思う。学校にいるときは居場所があるけど、大学とか大人になったら全部意志とか自分で決めなきゃいけないかと思うとき、やだなって思う。えーそう。私は早くいろんなこと自分で決めてできるようになりたくなってる思う。

あーそれは確かに。決定権ないっていうか。大人のいいなり。本当に。うちもさ、大会の台本とかみんな決めてただけだし、後から顧問が口出ししてきて覆されんの。えーなにそれ。

演劇部の顧問で誰だっけ。

〇〇。

あー〇〇かー。

うちらはこれが面白いと思ってやってるのに、これじゃダメだから変えろって言うてきて。は？もうなんだよって感じ。

それでどうしたの？

いや押し切ったよ。

やるじゃん。

どんな話やるの？

いやだからこういう感じ。

ヤンキーだっけ？

不良娘な。

同じじゃね。

だから微妙なニュアンスの違いがあるつつつてんだろ。

なんでその台本ダメなの？

いやなんか、この台本じゃ勝てないって言うて。

面白くないってこと？

いや私すげー好きなんだよ。でも高校生らしくないとか言うて。

なにそれ。

あるんだよ。高校生らしさみたいなのが審査基準で。

本当にあるの？

いやなんか暗黙のルールみたいな感じで。高校生らしさとか、教育的に善良かとかってすごいでかいんだよね。

えー。

高校生らしいってなんだろうね。

てかむしろめっちゃめっちゃ高校生らしいからねこの作品。えだって不良って高校生がなるもんじゃないの？いやだって大人が不良やってたらそっちの方がやばくない？

確かに。

でしょ。ほら尾崎豊の15の夜とかあるじゃん。あわかる？尾崎豊。

盗んだバイクで走り出すやつでしょ。

そうそれ。だってタイトル15の夜だよ。15だよ。超高校生じゃん。

つくし

中学生かもよ。

深幸

いやそれはどっちでもいいの。

あらた

夜の校舎窓ガラス壊してまわるのとか。

深幸

そうそうそういうこと大人がやってたらまじ犯罪じゃん。

二葉

高校生がやっても犯罪だけどね。

深幸

いやそうなんだけどさ！でもそこはさ、なんか違うじゃん！

あらた

でもさ、尾崎豊を例えて出すのはちよつとあれじゃない？

深幸

あれって？

あらた

いや、なんか、古いなって。

深幸

あーやーもう。

あらた

あいや好きだよ尾崎豊。でもほら、ね、やっぱ、時代が違うじゃん。

つくし

まー今の時代バイク盗む奴も窓割る奴もないよな。

心

タバコ吸う人はいるよね。

あらた

窓割る奴もいるよ。

つくし

ああバスケ部な笑

深幸

まあだからとににくいやなんだよ！大人のいいなりになるのは。うち

二葉

らにはうちらの意志があるじゃん。なんでそういうの尊重してくんな

深幸

いんだよ。

二葉

それはセリフ？本音？

深幸

え、ああ、あれ？えつと、本音かな。

つくし

いやでも本当尊重して欲しかった。

心

文化祭不参加ってほんと意味分からなくない。

二葉

ああ、うん。それはどうなのつてうちのクラスでもなつてた。

心

吉田もかわいそうだよな。彼女できたのに一緒に回れないとか。

深幸

みんなごめん。

つくし

なに。どしたの。

深幸

私のせいなんだ。

心

どういうこと？

深幸、タバコを取り出す。

心

えつ。えつ！？

二葉

あ、小道具？

深幸

私のせいなんだ。

回想。深幸が校舎裏でタバコをふかしていると、ミチルが通りかかる。目が合い、深幸はタバコを消す。何も言わず通り過ぎようとするミチル。

深幸

おい。

ミチル

はい。

深幸

ちくんなよ。

ミチル

ちくんないよ。

深幸

本当に？

ミチル

本当に。

深幸

そっか。

ミチル

あのさ、

深幸

あん。

ミチル

やめた、方が、いいと思うよ。

深幸

役作りだよ。

ミチル

そんなことまでするんだね。

深幸

文句あんのかよ。

ミチル

ううん、すごい。雰囲気全然変わるから。

深幸

悪いことだったのはわかっているよ。でもこういう、見つかるかもしれないスリルとか、タバコのおいとか、吸った感覚とか、やってみたいとわからないし、嘘っぽくなるじゃん。

ミチル

うーん、

深幸

ガラスの仮面って漫画知ってる？

ミチル

聞いたことくらいは。

深幸

役作りがすごい。視覚聴覚を塞いだり、片足しげたり、乞食になって生活したり。その役になりきる為になんでもするんだよ。

ミチル

じゃあ人殺しの役をやることになったら、人殺すの？

深幸

いや、それはさすがに。

ミチル

いじめ受けて自殺した幽霊の役とかだったら？

深幸

いじめは受けたらと思うけど、死ぬのは無理でしょ。

ミチル

じゃあどこまでならして、どっからはできないの？その境界線は？

深幸

わかんないよ、役をもらったその時じゃないと。

ミチル

もらった役が実際にできないような役だったらどうするの？

深幸

だからわかんないって言ってんじゃん。その時にならないと。別にいいだろタバコくらい。誰にも迷惑かけてないんだから。

ミチル

本当にそう思う？

深幸

なんだよ。

ミチル

もし見つかってたら大変だよ。問題になって演劇部の公演中止になるよ。学校の指導はどうなってるんだって教育委員会出てくるよ。

深幸

そんなこと。

ミチル

それでも誰にも迷惑かけてないって言える？

深幸

見つかってないもん。

ミチル

見つかってないじゃん。私に。

深幸

お願い、言わないで。

ミチル

ライター貸して。

深幸

え？

ミチル

ライター。持つてるでしょ？貸して。

深幸、ライターを出して、渡す。

深幸

何するの？

ミチル

本当は切り刻んで捨てようと思ってたんだけど、どうせだから。ちよつと待って！

深幸

……それ、なに。

ミチル

写真だよ。

深幸

待てよ！それモザイクアートの

ミチル

言ったら、言うよ？

深幸

……。

ミチル、写真に火をつける。燃え上がる写真。

ミチル

言ったら、言うからね？

現在に戻ってくる。

深幸

ごめんなさい。

つくし

あのさ。

深幸

ん？

つくし

今の話さ、ぶっちゃけだからなに？って感じなんだけど。

深幸

え。

つくし

だってうちらミチルが燃やした犯人だって知ってるし。で大事なのは燃やしたっていう事実だけでその中身とかどーでもいいし。

心

つくしちゃん。

つくし

いやてゆーかだつてさ、今の話って結局、深幸が一人で抱えてんのが辛かっただけでしょ。ゲロって楽になりたかっただけじゃん。

深幸

そんなこと！

つくし

あるでしょ。

つくし

お前のせいじゃねーから！

つくし

私のせいだから。

心

どういうこと？

つくし

私が悪いの。私があんなこと言うから……。

3日前の教室。つくしがPCで写真の上にかけるカラーの調整をしている。

ミチルが来る。

帰らないの？

帰るよ。

まだ何かあるの？

広げてみたら何枚か思った感じの色じゃなくて、直そうと思って。

あー……そうなんだ。

ミチルはどうしたの？

ん、なんか、見に来た。

なにそれ。

なんか、見たりなくて。

別に明日も明後日も見れるじゃん。

そうだけど、やっぱりいい絵ができたなって。

私はこの絵全然納得してないけどね。

そうなの。

全然ダメ。こんなんじや。愛と平和なんて全然描けてない。

私は、素敵だと思うよ。

慰みの言葉ありがとう。

そんなんじやないよ。

でも私なんかより上手い人たくさんいるからさ。

でも、うちのクラスの中ではつくしちゃんが一番だし。

井の中。

え。

中学の時にさ、合唱コンクールで、伴奏の子が直前になって弾けないって言い出したの。

どうして。

他のクラスの合唱の伴奏聞いてビビったんだよ。自分の下手くそなピアノなんて聞かせられないって。んなもんさ、私達からしたら知るかかって感じじゃん？ピアノ弾けるだけで十分すごいのに、上手い下手とか全然気にしないのにさ。たかが学校の合唱コンクールごときで。

それで、どうしたの。

課題曲は音楽の先生が弾いて、自由曲はCDで歌った。

その子は。

別に何も無いよ。まあ一部の人たちからは「は？」みたいな感じで見られてたけど。

そうなんだ。

だから私も許されんなら辞めたい。こんな絵破り棄てたいわ。

つくしちゃん……。

なんてね！うっそー冗談でした！びびった？んなわけないじゃん！
うん！我ながらナイスデザイン！

ミチル
つくし
え。 どうしてそんな風に笑って茶化すの？

ミチル
つくし
自分の本当の気持ちごまかしてるじゃん。
たっはー！ごめん！癖なんだよね！重苦しいの苦手でき！
そう。

ミチル
つくし
形見だからさ。お母さんの。この心。性格？
ごめん。

つくし
いいよ。自分でも悪い癖だと思ってるけど、でも嫌いじゃないからさ。
私はなんて言うかさ、みんなが笑ってればそれでいいっていうか。そのために立ち振る舞いたいって思う。私のこんな絵でもみんなが笑ってくれるなら、さ。

ミチル
つくし
でも私はつくしちゃんにもちゃんと笑ってほしいよ。
笑ってるじゃん！ほらースマイルスマイル！

ミチル
つくし
……。
……。

つくし
ねえ、なんで「愛と平和」にしたんだろう。
なんでって。
陳腐だなんて。

ミチル
つくし
陳腐？

つくし
ありきたり。平和のカケラ。って、何。ピースとピース？安直でしょ。
ダメ？

つくし
ダメじゃないけどさ。でもなんか、きれいごとじゃん？こんなことして何になるんだろうって。だって、ねえ。これで世界が平和になる？みんな愛し合いましょうってなる？ならないでしょ。こんな、1000人ちよつとが集まったってさ。何にもならないんだろうなって。
……そうかもね。

ミチル
なんかやることある？手伝うけど。

つくし
大丈夫、一人でできるから。

ミチル
そっか、ありがとう。じゃあ、私帰るね。

つくし
うん、じゃーねー。

意識が現在に戻ってくる。

つくし
私が破り棄てたいって言ったから、ミチルは燃やしたんだと思う。
そんなことないと思うけど。

つくし
え。

心
なんで。

あらた
え、だって、なんで中村はみんな帰った後に教室に戻ったの？

心
あらた
それはだから、見に来たって。
おかしいだろ。わざわざ見るためだけに？

深幸
どういうことだよ。

二葉
もしかして。

あらた
その時にもう燃やそうと思ってただろ。で誰もいないと思つて戻つてきたらいたつてことじゃないの？

つくし
そんなわけ！

あらた
ないって思いたいだけだろ。

つくし
じゃあなんのためにミチルは燃やしたのさ！

あらた
そんなのわからねえよ！

近くの通りを消防車のサイレンが駆け抜けていく。

心
どうしたの？

二葉
いや、こんな時間に火事かあと思つて。

心
ああ、そうだね。

二葉
深夜にもサイレン鳴らして走るんだなあ。

心
確かに。この時間車とかほとんど走つてないでしょ。

深幸
赤信号入る時鳴らしないとダメでしょ。

心
あそっか。

つくし
どっちにしてもうるさいよあれ。うちさ、病院の近くの通りなんだけど、ほんつとに毎日ピーポーピーポーうるっさくてさ。気狂いそうになる。

二葉
あーそれって最近言う人多いよね。新聞の投書とかで見た気がする。そんな風に言う奴は、救急車使う時サイレンなしで走れよ。

あらた
どんなに渋滞で道が混んでて病院に着くのが遅くなつて、それで手遅れになつても絶対に文句言うなよな。

あらた
あの音は、誰かが助けてくれつて叫んでる声じゃねえかよ。それをよくうるさいつて言えるな。自分が助けてつて言つてるのにうるさい黙れつて言われたらどんな気持ちだよ。ちよつと考えればわかるじゃん。思いやりなさすぎだろ。

つくし
ごめん。

あらた
いや俺もごめん。

二葉
なんかちよつと眠くなつてきたね。

深幸
まあもうこんな時間だからな。

つくし
なんか買いに行こうよ！

二葉
え？大丈夫？こんな時間に行つたら補導されない？

つくし
大丈夫大丈夫。お泊まり会的なのやつてて買い出しに来た体でいけば

あらた 問題ない。行こう行こう！2人なんかいるもんある？
心 俺は別に。
つくし ちよつと。
心 何いる？
つくし ……じゃあプリン。
つくし オツケーじゃあ行つてくるねー！

つくし、深幸と二葉を連れて出て行く。残されるあらたと心。

心 あらたくん？
あらた ん、何？
心 どうしたの。
あらた いや、なんでもない。

心 もう雲もなくなつたね。早い。
あらた 晴れそうだな。
心 そうだね。

心 やっぱり星全然見えないね。
あらた そうだね。
心 明るいよね。

心 あらたくん。
あらた 何。
心 どうして、俺のせいなの？

鈴の音がする。2人を見ると、ブルーがいる。互いに驚き顔を見合わせる

心 あらたくん、見えるの？
あらた 信田さんも……？

あらた ブルー……。
心 どうして見えるの。
あらた 信田さんこそ。
心 私の……私のせいだから。

小学生の頃の記憶。猫を拾って来た心を父親が怒っている。

父親（シン） ダメだ。
心 お願いします。
父親（シン） お願いされません。

心 ちゃんと世話するから。
父親(シン) できるわけないだろう。
心 できます。
父親(シン) どうやって？

父親(シン) 餌はどうするんだ？誰が買うんだ？
心 お年玉で。

父親(シン) しつけは？家の中のそこらじゅうでおしっこかうんこするぞ。壁とか家具とか爪でガリガリするぞ。どうすんだ。

心 ……。
父親(シン) どんな悪い菌持つてるかもわからないんだぞ。感染したらどうすんだ。

心 ……。
父親(シン) 捨ててこい。

心 やだ。
父親(シン) 捨ててこい!!!
(首を横に振る)

父親 猫をひつつかんで捨ててこようとする。心泣きじゃくりながら。

心 やあーだあーだあー！おねがiiiiiii。
父親(シン) ダメだ！

心 ちゃんとするからあ！
父親(シン) できないだろ!!!

心 しーまーすうううう。
父親(シン) 捨ててくるまで入ってくんない！

心、泣きじゃくりながら、ごめんねを繰り返しながら、猫を捨てる。

雨の中、後ろ髪を引かれながら、その場を去る。
小学生のあらたと、その親友の男子が通りかかる。

親友(シン) なあみるよ。猫。
あらた ほんとだ。

親友(シン) 捨て猫っているんだな。かわいそう。

あらた え、どうすんの。

親友(シン) ここで俺たちで飼おうぜ。

あらた 飼う？ここで？

親友(シン) だって俺んちペットダメだもん。

あらた 俺んちも無理。でも誰か拾ってくれるって。

親友(シン) そうだけど、じゃあ拾ってくれるまで。

あらた 飼うってどうすんの。

親友（シン）

エサとかあげたり。

あらた

そんなお金俺持ってないよ。

親友（シン）

大丈夫、俺お年玉あるからさ。

あらた

俺母さんの世話しなきゃだから……毎日はいれないよ。

親友（シン）

わかってるって。あ、見ろよ。こいつ青い目してる。

あらた

本当だ。

親友（シン）

よし、ブルーって名前にしようぜ。

数日後。

親友（シン）

ごめんあらた！頼むよ。

あらた

えーなんでだよ。今日は俺帰らなきゃなんだって。

親友（シン）

頼むって。大事な試合なんだよ。

あらた

ただのキックベースじゃん。ブルーのところ行ってから行けよ。

親友（シン）

そんなこと言うなって。どうしてもすぐ行かなきゃいけないんだよ。

あらた

な？ほら金。お釣りやるからさ。

あらた

……わかったよ。今回だけな。

親友（シン）

わり！サンキュー助かるってばよ！

ブルーの居場所。

あらた

ブルー。飯だぞー。おい。……ブルー？

不安になって探すあらた。鈴の音に気づき振り返るとブルーがいる。

あらた

ブルー。どこに行ってたんだ。ほら、飯だぞー。

飯を出してやると、食べ始める。それを見ている。

あらた

そうだよな、おまえいつかなくなるんだよな。拾われるか、どっか

いっっちゃうか。突然、なんだよな。

じゃれ合う2人。救急車の音が聞こえる。病院の緊急搬送室の前。

兄（シン）

あらたあ！お前何してんだ！

兄（シン）

お前が家にいる当番だったよなあ？救急車呼ぶの遅れたせいで意識不

明の重体だぞ！お前が外ほつつき歩いて帰らなかったから！

あらた

ごめん。

兄（シン）

ごめんで済むかアホ！お前がちゃんと家にいればこんなことにはなら

なかったんだぞ！発見が遅れたせいで！母さんにもしものことあった

あらた
らどうすんだよ！お前のせいだからな！
ごめん。

兄（シン）
要らねえんだよごめんなんて！謝ったって何の解決にもならねえんだ
よ！大体誰に頭下げてんだよ俺か？あ！？

あらた、ブルーを思い切り蹴飛ばす。雨の中。

あらた
お前のせいだ！お前のせいだ！お前のせいだ！

親友（シン）
おいやめろよ！何すんだよ！

あらた
放せよ！こいつなんか構ってるから！

親友（シン）
落ち着けよ！

あらた
うるせえよ！お前のせいだよ！飼うって言ったくせに面倒見てたのほ
んど俺じゃねえか！全部全部お前らのせいなんだよ！

あらた、親友に掴みかかり殴る。ブルーも再び蹴ろうとしたところ逃げる。
追いかけてよとする。ブルーは車道に飛び出す。そこに車が走ってくる。

あらた
待て！

親友（シン）
おい、危ない！

間一髪であらたの手を取り止める。2人の目の前でブルーは潰れて死んだ。
24

2人
ブルー！

呆然とする2人、親友、あらたを思いきり殴る。そして立ち去ろうとする。

あらた
待てよ！

親友（シン）
ふざけんな！

取っ組み合う2人。後半は、親友が一方的に殴る。
おさまったところで、立ち上がり、いなくなる。仰向けで残されるあらた。

あらた
俺のせいだ……。

あらた
全部俺のせいだ……。

あらた
ぜんぶおれのせいだああああああ！！！！

あらたの悲痛な叫び声が雨の中にこだまする。
意識が現在に戻ってきて教室。あらたの目の前に、シンとブルーがいる。

あらた

全部俺のせいなんだ。母さんの病気が悪くなったのも、ブルーが死んだのも、兄ちゃんが大学中退したのも、試合で負けたのも、あいつの財布が盗まれたのも、アラジンとジャスミンが別れたのも、モザイクアートが燃やされたのも、全部俺のせいなんだ！

心

違うよ。あらたくんのせいじゃないよ。わかってるよ！そんなの何回も言い聞かせてるんだよ！でも全然消えてくれねえんだよ……。忘れたところに現れて俺のこと攻撃してくるんだ。

あらた

あらた

ごめんなブルー。俺が悪かったから、もうわかったから、消えてくれよ……！頼むから！俺のせいだから！頼むから、許してくれよ……。

つくし達、コンビ二袋を提げて戻ってくる。シンとブルーが消える。

二葉

どうしたの？

心

ねえつくし、なに。

つくし

私はなんであの時ピアノを弾けなかったんだろう。

心

は？
なんであの時ピアノを弾けなかったんだろう。

二葉

まあほら、疲れたしちよつと休もう。お菓子食べよう。

深幸

そうじゃんこのクラス机椅子ないんじゃないんじやん。

あらた

隣の教室にあるの持ってきた。

二葉

私とってくるよ。

つくし

私も。

心

何買ってきたの？

深幸

お菓子とか。

心

ポツキート、プリッツと、せんべいと、たべっこどうぶつ。

あらた

チヨイス微妙じゃね。

深幸

いやだって、演劇部的には、夜の教室で食べるお菓子って言ったらいやなんだよ。

つくし

意味わかんないでしょ。言ってるよ。

あらた・心

意味わかんない。

深幸

あーはいはい。

つくし

心さ、さっきのなんで伴奏弾けなかったことだけだよ。

心

うん。

つくし

それはさ、クラスのことより自分のプライドを守る方が大事だったってことですよ。

心

……そうだね。

つくし

別にあんたに言ってるんじゃないやなくて自分に言い聞かせてるだけだから。

深幸

人間てのはさあ、みんな弱っちいんだよ。大切なもの全部守れるほど強くできてねえ。だから大事なもんが2つあったら、そのどっちかしか守れねえんだよ。そうやって選ばなきゃいけないことなんか山ほどあるし、どっちも選べなくて結局どっちも守れないなんてことばっかりだよ。両手で抱えられるもんなんてこれだけしかねえんだから。

二葉

えつと……：役？

深幸

そう。

二葉

すごい。すごい響いた。

深幸

そうなんだよいい本なんだよ。すげえいいセリフいっぱいあるんだよ。でも高校生らしくないって言ってダメにされるんだぜ。

二葉

あ、セリフもそうなんだけど、普通に演技も、よかったなって。

深幸

そう？

二葉

うん、なんていうか、不良娘？だっけ？が、なんか、こう、ひねくれてさ、拗ねてさ、でもどこか達観してさ、強い大人になりたいけど、背伸びしかできないって言うか、なんていうか、こうね、タバコ吸いながら、ね、あーごめん全然うまくいえない。

深幸

ありがと。なんか、このセリフ全然しっくり来てなかった。でもなんか、今、自分に言い聞かせながら言ってみた。

心

ごめんねつくし。

つくし

だから別にもーいーよって。てか謝ることじゃないし、あんた散々謝り続けてきたじゃん。いつまで謝り続けるの？

心

わかんない。

つくし

結局さ、深幸のセリフにもあったけど何を守るかじゃん。さっきの、深夜残業とかも、辞めればいいだけだし。それは自分の心と身体の健康を守ってるだけで何も悪いことじゃないじゃんね。

二葉

わかる。それこそさ、昔の人はさ、なんか、手に入れてやる！って戦ってて感じ。

心

うちら別にブランド興味ないし。そういうのいらなから、最低限守りたいところ守らせてって感じ。

深幸

守るための戦い。

つくし

なにそのかっこいいの。

深幸

えそうかっこいい？

つくし

かっこいいかっこいい。

深幸

まあ、なんていうの？今ウチらここにいるのぶっちゃけ問題じゃん。でも俺悪いだなんて思っってないよ。

あらた

私も。

心

うん。

あらた

別に悪いことしてない。バイクも盗んでないし窓ガラスも壊してない。

二葉
あらた
そういう問題では……。俺達何も悪いことしてない。

あらた
罪と呼ばれるのかもしれないけど、でも、悪いことはしてない。

心
うん。

深幸
まあ、守るための戦いかなって。

つくし
うちら戦士じゃん。

心
なにそれ。

つくし
だってこう、守り戦ってるわけでしょ？

心
なに守ってるの？

あらた
青春？

深幸
くっさ。

つくし
ほら、ちようど5人だし。

心
え、じゃあ誰が何色なの？

二葉
私ピンク。

盛り上がっていると、ミチルが入ってくる。誰も何も言わない。深幸がつめより、ミチルを部屋から押し出そうとする。

心
ちよつと待って！

深幸
いいから！

心
やめて！

深幸は止まり、離れる。心、目でミチルを招き入れる。

心
なんで？

ミチル
……ごめんなさい。

心
なんで燃やしたの？

ミチル
なくならないとわからないでしょ？

ミチル
なくならないとわからないでしょう。

深幸
何言ってるの？

心
どういうこと。

あらた
別にいいんだけどさあ……。

ミチル
え。

心
あらたくん。

深幸
え。

つくし、モザイクアートを手渡しに行く。受け取るミチル。

あらた

みんながどう思ってるか知らないけど、俺は別にいい。それより早くこれ作り直さないと。

心

でもそれより、私はちゃんと聞きたい。

二葉

サン？

ミチル

……なんで。

二葉

いや、なんとなく、なんかあるんじゃないかって。

つくし、ライン電話する。すぐサンが出て。

サン

オラ！（やあ！）つくしー？ケ・フォイ？（どうしたの？）

あらた

やっぱりお前か。

サン

……なんのことだ。

あらた

いい加減とぼけるのやめろよ。どれもこれもお前のせいなんだろう？

サン

さあ、知らないな。

つくし

モザイクアートを燃やせて指示したの、サンなんですよ？

サン

そうだよ。俺が燃やせて言いました。

深幸

なんで。

サン

なんでだと思う？

二葉

なくならないとわからないから。

二葉

……つてことだよね。

二葉

私わかるよ。なくなるんだよね。簡単になくなるんだよ。当たり前前思っていたものなんて一瞬で壊れる。

サン

なんかすげえ嫌だったんだよ。いろんなものが当たり前になってるのが。だつてさ、俺らあの時感じたはずじゃん。色んなこと感じたじゃん。感じたよね？でもさ、なんか、なんで忘れるんだろうね？なんでこう、当たり前にまた思うんだろうなあって。だつて、ないじゃん。当たり前前思ってたものなんて一瞬でなくなるじゃん。って気づかさされたはずじゃん。なんか、なんで、あれから俺たちなにできてんだろうなって思ってた。そんでまたいつかおんなじこと繰り返すわけじゃん。俺ホントにそれが、嫌だったんだよ。

二葉

でも、だからって、

ミチル

こんなことしていいわけじゃない。なんて言わないでね。

サン
まあ、さすがにやりすぎかなとも思わなかったわけじゃないよ。

サン
でも、やっぱそのまま完成してもしよるがなかったかなーって思う。だつてほらなんか、やー結局、テーマが「ラブ&ピース」とか言ってるけど、それ作ってる人たちがそんな感じじゃないし。やっぱりどつかで目的見失ってたかなって思うし。だからそんなんで完成してもさ、全然愛と平和なんて伝わらないと思っただ。

あらたが机を思い切りたたきつける。

あらた
……うるせーよ。

あらた
お前さあ、いつも勝手なんだよ。自分だけの考えで突っ走って好き勝手やって、外面だけは良くてさあ、それで火傷被ってる人間がいることわかってねーだろ。周りの人間のこともっと考えろよ！

サン
ごめんなあらた。

サン
俺が悪かった。

……ずるい。

あらた
ずりーよ！お前ホントずるいって！

そうだな。ごめん。いいよ、嫌っても恨んでも。好きにして。

サン
どーせさ、俺らもう会わないし。何思われても関係ないから。それはずるい。

二葉
ずるいと思う。

サン
わははははは！そつかずるいか！

あらた
ずるいよ！お前はホント何しても何言っても、許されるから、ずるい。そんなこと言われても。

サン
切るぞ！俺ら早く作り直さなきゃいけねーんだから！お前のせいであらた
うむ！頑張りたまえ！

あらた
まじうるせーこいつ。てめー何様だし。
サン
はいはいじゃ、みんなあとよろしく。文化祭楽しんでね。

みんな
じゃーねー！

サン
あゝ待つて待つて！心〜！ボア・ソルチ！

心
え？なに？

電話を切る。全員、大きく息を漏らす。

あらた ……さて――。

皆がモザイクアートに向かう。

あらた やるか。

つくし なにしてんの。やるよ。

ミチル いいの？

深幸 うるせー。やれ。

ミチルもモザイクアートに着手する。

心 そういえばさ、ナチュラルーに二葉ちゃんずっと一緒にやってくれて

つくし るけど、別のクラスなんだよね。

深幸 本当だね。忘れかけてた。

二葉 なんかごめん。

つくし ううん。好きで手伝ってるんだし、それになんか、手伝えてよかった。

二葉 そう？

あらた うん。なんか、いいクラスだなんて。

深幸 それはどうだろね？

心 みんなになんて言おうか。

つくし 正直に言えばいいんじゃない。

ミチル 誰が言うの。

あらた 私が言う。

心 どこまで言うの？

あらた どこまでって？

ミチル いや、だから、燃やした理由とかだけにするのか、サンのこととかも

深幸 全部言うのかとか。

ミチル 全部私のせいにする。

深幸 なんてだよ。

ミチル まあ確かにサンに言われたからだけど、でもやるって決めたのは私だから。

深幸 じゃあ私もやったってことにしてよ。

心 深幸？

ミチル 何言ってるの？

深幸 お前だけのせいじゃないし。燃やしたのは私のライターだし。

つくし じゃあ私も。破り捨てたいとは言ったし。

あらた みんなで謝ろう。

心 え、え、じゃあ私も？

二葉 じゃあ、私もだよね。
5人 いやいやいやいや。
ミチル えーいや、あのー……みんなのね、気持ちは嬉しいんだけど、お、お
深幸 お、あの、みんなのせいじゃないから。さあ……。
うるせー。だまれ。

ミチル 私サンみたいになりたかった。

心 うん。
深幸 わかる。

ミチル でも全然ダメだったや。全然、サンみたいにならなかった。だから、
深幸 ホントごめんって思ってる。
ミチル ううんごめん。
ううん。

二葉 あのさ、もし違ったらごめんね。中村さんさ、別に代わりじゃないと
ミチル 思うよ。
え？

二葉 いや、純粹に憧れならいいと思うけど、その、代わりにならなきゃと
か思ってるんだったら……違うなって。中村さんは、中村さんで。だ
31

つてさ、これは、そこにははまらないだもん。いや、そこに貼って
も違和感ないかもしれないけど、でもほら、パズルとかだったら、無
理じゃん？こういうのあるから、そこにしかはまらないじゃん。だか
ら、中村さんは、かわらないでいい。

うん。
うん。

つくし あとちよつとだ。
深幸 あと……80枚くらい？
二葉 これ全部で何枚あったの？
つくし 1200。
二葉 すごいね。

つくし でもやっぱ、1200人集めたところであって感じかな。もっと、たく
さんの人が集まらないと、愛とか平和とかにはならないでしょ。
二葉 1億？
心 やば。

深幸 でもできたらずごいよね。
ミチル というか、サンは本当はそれくらいやりたい勢いだよね。
あらた いや、だとしたら1億じゃなくて70億かな。
つくし 70億って！

深幸 バカかよ！
もし70億並べるとしたらどれくらいの大かさになるんだろ。
これどれくらいの大かさ？
二葉 A4の半分の半分の半分。
心 だからつまり？
あらた ーまあとりあえずA4サイズで計算するよ。えっと、70億だから、
あらた 縦7万×横10万並べるとして、
二葉 なんかもう一列並べるのすら途方もないね。
あらた 29.7cm×7万≒207万9000cmの、 ± 100 でメートル、 ± 1000 でキロ
メートル。20.79キロメートル。
つくし 意外と短いね。
心 えそう？
深幸 マラソンが42.195キロだからその半分。
ミチル 箱根駅伝。鶴見戸塚が23キロ。
心 え結構遠くない？鶴見から戸塚までずっと紙並べるんでしょ？
つくし しんどいわ。
あらた 横が、21km \times 20.79km \times 21km \times 436.59 \times
約437 \times
ミチル どんなもん？
つくし 東京ドーム何個分てきな？
心 東京ドームが、0.047 \times
あらた ちっさ。
深幸 とりあえず1万倍したら470だけ。
つくし てゆーか数字言われても全然ピンとこないよね。
心 まず東京ドームがどれくらいかわからないし。
二葉 要は21km \times 21km \times 21km。
あらた あ。
つくし わかった？
あらた 横浜市。
みんな？
あらた いや、横浜市がちょうど437 \times 。
心 ーすごーい。
二葉 つてことは、A4の紙を70臆枚並べたら、横浜市になるってこと？
つくし あーわかりやす。
ミチル 横浜市分のモザイクアート……。
深幸 確か……。
つくし えそう？私意外と小さいかもつて。
あらた まあA4サイズだから、小さくしたらもつと小さくなるけど。このサ
イズなら8分の1だし。
深幸 てゆーかまず70億並べられないけどな。
心 あー知ってる。1秒に一人って奴。

二葉

なにそれ。

心

80年生きるとして、80年で大体25億秒だから、生まれてから一秒に一人と出会ったとしても25億人しか出会えないって話。

二葉

へーあほんとだー。

ミチル

実際どれくらいの人と出会えるんだろう。

深幸

どれくらいかー。

あらた

これくらいじゃない。

つくし

1200。

深幸

いやもつと全然多いでしょ。

二葉

どのレベルで出会ったっていうかによるんじゃない？

心

確かに。

あらた

まあでもまあ、これくらいいけば十分でしょ。

モザイクアートは、あと1枚貼るのを残して出来上がっている。

深幸

それで最後？

あらた

うん。

つくし

早くはれはれー。

あらた、最後の1枚をはる。

ミチル

できた。

深幸

できたね。

二葉

すごいや。

つくし

うん。

こころ

あらたくん。

あらた

ん？

こころ

好き。

あらた

え。

皆

(えええ！おおお！わああ！など)

こころ

本当は明日言うってずっと前から決めてたんだけど。なんか、今しかないかなって思ってた。もし、私で良かったら、付き合ってください。

つくし

どうすんの？

あらた

ああ……じゃあ、よ、よろしくおねがいます。

深幸

なんだよじゃあって。

あらた

いや、違って！

つくし

良かったね心。

二葉

あー泣かしたー。

あらた

えええ俺のせい！？

深幸

ほら慰めてあげなよ。

つくし
あらた
心

キース。キース。
バカか！
もうやめてよー！

ミチル
深幸

帰ろうか。
はーもう4時か。

つくし

雲、だいぶ晴れたね。

二葉

すごい静か。

心

月がきれい。

深幸

あの形の月見るの珍しいよね。

つくし

確かに、この時間に起きてないと見れないもんね。

二葉

起きてても家の中だもんね。外出る頃にはもう見えなくなってるし。

ミチル

あれだね、あっちに太陽があるんだね。

心

あーなんかすごいわかる。

ミチル

こう、月に引っ張られてもうすぐ出てくるぞーって感じ。

つくし

じゃああっちの方がブラジル？

深幸

いやブラジルは真反対だからどっち差しても正解じゃない？

二葉

確かに。

あらた

向こうは昨日の午後4時？

深幸

サンは今、あっちにいるんだね。

二葉

朝のリレーだね。

ミチル

あーやったね。

あらた

カムチャツカのなんちゃらーみたいなのやつだっけ？

二葉

そうそう。

つくし

もうすぐ朝か。

二葉

いよいよ明日か。

あらた

明日？

二葉

えっ、ああもう今日？

深幸

ビミョーだね。

つくし

やっぱわかんないね。

あらた

いつのまにか、変わってくんだな。誰も気づかないうちに。

心

そうだね。

あらた

こうやって気づかれないように、毎日、毎日、どこまでも続いていくんだな。そうやっていつのまにか、消えてったり、忘れてったりして。

あらた

でも俺さ、今日のこの月、多分ずっと忘れなと思う。いつかまたこの時間に起きて、同じ月を見たときに、今日のことを思い出すんだろうなって思う。今日のこと思い出して、あれからどうやって生きてきたかなあって考えるんだと思う。

深幸

何センチになつてんの？

つくし

ロマンチストー。

あらた

うるせえな。

つくし

ドン引きー。

心

あ、私は別に引かないよ。

他の女子

「ヒューはいのろけー！」「さらにドン引きー」など

あらた

うるせえな！

つくし

さー帰ろ帰ろ！はいたいさーん！

二葉

私帰る前にトイレ寄るー。

ミチル

あ、私も。

心

えーちよっと待ってー。

女子たち、バラバラと出て行く。

あらたも出て行こうとした時、背後で鈴の音がする。

あらた

あれ、まだいたのか。

あらた、ブルーに近づき

あらた

ごめんなブルー。俺、お前の分まで精一杯生きるよ。

ブルー

なーに言ってるんだ。俺のことなんか忘れて、お前の道を生きるよ。

あらた

なあブルー。もし俺が彼女といることを当たり前に思うようになったら、また来てくれないか。

ブルー

バーカ。だーれがお前なんかのためにわざわざ来るもんか。

あらた

ごめんブルー、もう何言ってるのかわかんねえや。

心、戻ってきて。

心

あらたくんみんないつちやうよ。

あらた

ああ、ごめん。

ブルー

ああ、そうそう。本当はずーつと言いたかったことがあるんだ。

ブルー

短い命だったし、ろくなことしかなかった。何のために生まれてきたのかわかりもしなかった。けど、最後にお前達と出逢って、少しだけ、この世界も捨てたもんじやなかったって思ったんだ。だから本当は、もうちよっとだけ生きていたかったって思った。ごめんな。こんなに長い間まとわりついて。ありがとう、あらた。元気でやれよ。

窓辺に近づきながら、ブルーはゆっくりと薄くなり、やがて見えなくなる。同じように、鋭く上がった月が少しずつ薄くなり、やがて見えなくなる。幕